

【 提 言 書 】

さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進に向けて

平成30年12月20日

さぬき市まち・ひと・しごと創生有識者会議

さぬき市まち・ひと・しごと創生本部

本部長 大 山 茂 樹 殿

さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進に向けて

さぬき市まち・ひと・しごと創生有識者会議では、さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「総合戦略」という。）に掲げた重要業績評価指標（以下「K P I」という。）の平成31年度目標値の達成等に向け、関係部局に対する総合戦略の進捗状況調査の結果等について協議を行いました。

つきましては、当有識者会議における協議結果等を、次の意見を付して報告します。

貴職におかれましては、意見内容を踏まえた総合戦略の改訂と実施に努められるよう希望します。

さぬき市まち・ひと・しごと創生有識者会議

座長 長 山 貴 之

1 総括意見

(1) 本年度の改訂に向けて

68項目のKPIの実績値等を検証した結果、本年度における重大かつ大幅な改訂要素はないように思われる。

ただし、KPIについて、平成29年度実績値が既に平成31年度目標値を達成している「創業支援事業計画に基づく創業件数」、「特産品開発・ブランド化件数」、「介護予防サポーター活動参加者数」等の指標については、適宜、上方修正すること。

また、新しい視点で追加したい具体的施策や取組がある場合は、積極的に追加すること。

(2) 平成31年度に向けて

「さぬき市は、他の市町村とどこが違うのか。」。人口減少が進む中、人口を互いに奪い合うのではなく、お互いを支え合う関係づくりと、今ある優れた地域資源をつなぎ合わせ新たな魅力を作り出すなど、特色ある地域づくりが必要だと考える。「さぬき市の目玉はこれ。」という事業を優先的に進めるべきであり、各課が縦割りの考えではなく、全庁横断的な連携を協力的に推し進めることで、複合的な取組にも柔軟に対応できるのではないかと。

地方創生の取組は、一朝一夕に大きな成果が出るものではないため、効果が見込まれる施策については、工夫や改善を加えながら、息長く取り組んでいくことが重要である。

本市の人口減少の現状に鑑みると、一刻の猶予もないことは事実であり、官民連携等をより強化しながら、定住の促進と市民の生活満足度の向上に向け、更なる危機感を持って取り組んでほしい。

平成31年度は、「さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の計画期間が最終年度に当たることから、各計画の目標達成に向けて取り組むとともに、本戦略の基本理念でもある「命と暮らしを守る」、「人と人、過去と未来をつなぐ」、「改革と創造で進化する」の下、本市ならではの地方創生の実現に向けた効果的な施策展開を図ることを期待する。

2 基本目標別個別意見

基本目標1 「働く場をつくる」

○具体的な施策「後継者育成の支援（農業・水産業）」

K P I 「担い手の耕作農地面積」関係

農業及び漁業従事者の高齢化が進行し、後継者不足は解消されていない。担い手確保のため意欲ある新規就業者への取組支援を強化してほしい。

○具体的な施策「地域資源を活用した新たな特産品の開発・ブランド化・販路開拓の一体的支援」

K P I 「特産品開発・ブランド化件数」関係

本市には魅力ある農産物等の地域資源も多々あることから、ブランド化をはじめ、既存のものに新たな付加価値を付ける手法を検討するなど、本市ならではの特色を生かした取組を期待する。

○具体的な施策「さぬき市の魅力発信の強化」

K P I 「さぬき市観光協会ホームページ訪問者数、さぬき市ホームページアクセス数」関係

ホームページは、単に情報を提供するだけでなく、近年では、市の施策等を効果的にPRできる非常に重要なツールとなっている。他の市町村の優れたホームページの内容などと比較検討し、適切な改修により魅力あるホームページにすることが急務である。当K P I 値の増加は、他の施策への波及効果も見込めるため、取組の強化を期待する。

○具体的な施策「まちづくり寄附（ふるさと納税）の推進」

K P I 「まちづくり寄附額」関係

ふるさと納税のポータルサイトのうち、最も利用率が高い「ふるさとチョイス」では、さぬき市の情報は掲載されているが、当該ポータルサイトからの直接申込みができない状況となっている。香川県内の市の中で、当該サイトからの直接申込みができないのは、高松市とさぬき市だけであることから、利便性の改善を図ることはもちろんのこと、更なる返礼品の充実やPR方法の見直しに努めてほしい。

基本目標2 「人の流れをつくる（変える）」

○具体的な施策「若者世帯の定住促進施策の拡充」

K P I 「結婚定住・三世帯同居等奨励金・移住促進家賃等補助金の交付数」関係
定住人口の増加を図るため、制度の周知徹底はもちろんであるが、他の自治体での周知方法を参考にインパクトのある周知を図るとともに、制度設計においては、幅広い年齢層を対象にするのではなく、ターゲット（子育てに充てるのか、老後に充てるのか等）を絞り込むことも検討してはどうか。

○具体的な施策「住宅リフォーム支援制度の拡充」

K P I 「空き家バンク掲載物件でリフォーム支援を受けた件数」関係
さぬき市に住みたいが、空き家はあっても借りることができないという話をよく聞く。空き家の持ち主が空き家を手放しやすく、新しく住む人が住みやすい支援を検討してはどうか。空き家の利活用においては、既にリフォーム支援制度に取り組んでいるが、更なる施策の充実に期待する。

また、空き家に関しては、定期的に空き家の相談会を実施するなど、移住しやすい環境を整えることも必要である。

○具体的な施策「さぬき市奨学金返還金の減額」

K P I 「減額者数（市奨学金返還金）」関係

さぬき市奨学金返還金の減額要件に、「市内に定住し、市内企業で就業した場合」とある。日本学生支援機構奨学金返還者に対する元金及び利子補助の要件は、「市内に定住した場合」とあり、市内企業に就業する必要はないことから、この要件は、「市内に定住した場合」とすれば十分なのではないか。

また、地元企業に就職した場合に祝い金を出すなど、企業側にも財源の拠出を協力してもらい、官民が連携して取り組むことも検討してはどうか。

基本目標3 「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」

○具体的な施策「放課後児童クラブの拡充」

K P I 「年間登録児童数（放課後児童クラブ）」関係

できるだけ早期に対象学年を小学6年生まで拡充すべきである。保育所の待機児童と同様に、放課後児童クラブの待機児童についても現状を把握し、対策を立てる必要があるのではないか。

○具体的な施策「女性や有資格者等の就労支援の強化」

K P I 「就職サポートセンターマッチングによる看護師・介護士・保育士の就労人数」関係

就職支援についてはハローワークの業務であるが、より市民に身近な市が支援することで効果があると感じる。中小企業では、慢性的な人材不足の状態であることから、多方面からの人材の情報があれば非常に心強い。看護師などの有資格者のみでなく、無資格者でも働く意欲のある女性をサポートする施策になることを期待する。

○具体的な施策「公共施設等を活用した多世代交流とふるさと教育の推進」

K P I 「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがあるの割合」関係（全国学力・学習状況調査質問紙調査）

ふるさとを教材とした学習活動の推進や地域の人々と共に身近なふるさとのすばらしさを学ぶことは、ふるさとへの理解と愛着を高める意味において、非常に有意義な取組である。

子供のときから地域のことを考え、ボランティア活動等を行うことで、地元へ愛着を持ってもらうよう今後も更なる取組の充実を期待する。

基本目標4 「生きがいをもって、安心して住み続けられる地域社会をつくる」

○具体的な施策「周産期医療の充実」

KPI 「分べん件数」 関係

さぬき市民病院は、大川地区で唯一の分べん取扱機関であるが、平成28年度に4名体制であった産婦人科医が、平成29年度には2名体制となり、入院から外来までの診療に当たっている。分べん制限の回避を図るべく、早急に医師の確保に努めてほしい。

○具体的な施策「高齢者の元気づくり支援」（介護予防・日常生活支援総合事業）

KPI 「介護予防サポーター」 関係

介護予防サポーターの人材育成は、今後も必要だと思うが、動ける高齢者の元気づくりのために、個人でできる活動に支援を行うことも検討してはどうか。

例えば、花植え運動など、個人が好きな時間に行える地域おこしの活動をすることで元気になるとともに、それを見に来る人が増えることで、やりがいを見つけられる。（参考：神前のコスモスプロジェクトがその例）

○具体的な施策「安全に利用できるコミュニティバスの推進」

KPI 「ノンステップバス導入率」 関係

コミュニティバスを高齢者の足として今後も継続する方向であれば、高齢者に優しいノンステップバスの早期の追加導入が必要である。

なお、公共交通網の整備促進は、高齢化社会への対応はもとより、移住・定住促進においても欠かせない施策の一つである。自力で自家用車を運転できなくなった場合は、地域の公共交通に頼らざるを得ない状況にあり、コミュニティバスの運行頻度、バス停の数、運行ルート of 拡充等の見直しが必要ではないか。バスの利用代金を上げて利便性を向上させるのも一つの方法である。

3 さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略進捗状況調査結果

別冊のとおりとする。

4 協議経過

○平成30年度第1回まち・ひと・しごと創生有識者会議

開催日：平成30年11月7日（水）

議 事：（1）さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略進捗状況調査について
（2）今後のスケジュールについて

○平成30年度第2回まち・ひと・しごと創生有識者会議

開催日：平成30年12月12日（水）

議 事：（1）まち・ひと・しごと創生総合戦略進捗状況調査に係る意見書について
（2）提言書案について

5 さぬき市まち・ひと・しごと創生有識者会議委員名簿

	氏名	所属等
座長	長山 貴之	香川大学経済学部教授（学校）
副座長	鈴木 珠美	前さぬき市行政評価委員会副委員長（地域）
	大塚 ノブ子	さぬき市農業委員会 委員（産業）
	尾崎 勝	さぬき市商工会 会長（産業）
	柏原 里砂	ライター「遊びの達人」記者（言論）
	長谷 真里	香川中小企業家同友会高松第7支部役員（地域）
	圓尾 元秀	三ツ星ベルト労働組合副委員長（労働）
	村岡 達朗	百十四銀行株式会社志度支店 支店長（金融）

50音順（座長・副座長除く）、敬称略（所属等は委嘱当時）